

兵庫県庁舎移転に伴うフェニックス防災端末
移設業務

仕様書

令和8年6月

兵庫県

目 次

1.	概要.....	3
2.	契約名	3
3.	履行期限.....	3
4.	対象部局の移転元・先.....	3
5.	作業場所.....	4
6.	スケジュール概要.....	4
7.	移設元機器情報	4
8.	移設先機器情報	4
9.	作業概要.....	5
10.	移設対象機器	6
11.	バックアップ回線用ルーター（防災ルーター）	6
12.	試験	8
13.	提出書類	8
14.	作業上の配慮	8
15.	特記事項	8

○別紙

- 別紙1 機器配置図
- 別紙2 接続構成図。
- 別紙3 ポート収容図

1. 概要

本作業は、県本庁舎の工事に伴い後述する各部局が移転するため、執務室に設置しているフェニックス防災端末等機器を兵庫県（以下「県」という）の指示もと受託者が指定箇所へ移設するものである。

2. 契約名

庁舎移転に伴うフェニックス防災端末移設業務

3. 履行期限

令和9年3月31日（水）

4. 対象部局の移転元・先

表1 対象部局の移設元・先の一覧

部	課	台数	移設元		移設先		移転時期(予定)	
総務部	総務課	1	県庁 2号館	7階	県庁3 号館	10階	7月上旬	
	広報広聴課	1		4階		8階	7月中旬	
企画部	総務課	1		3階		10階	7月下旬	
出納局	会計課	1	県庁 1号館	1階		8階	7月下旬	
保健 医療部	総務課	2		4階	三宮 国際 ビル	10階		11月下旬
	医務課							
土木部	総合治水課	8		9階	生田 庁舎	4, 5, 6 階	12月～1月	
	河川整備課 港湾課 交通政策課 用地課 砂防課							
	総務課 上下水道課 道路街路課 道路企画課 技術企画課 道路保全課	6		10階				
	合計	20						

※具体の移転日程・作業スケジュールについては別途指示する。

5. 作業場所

表1 作業場所一覧

施設名	所在地
兵庫県庁1～3号館	兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
三宮国際ビル	兵庫県神戸市中央区浜辺通2丁目1
生田庁舎	兵庫県神戸市中央区中山手通6丁目1-1

6. スケジュール概要

スケジュールの概要は以下のとおり。なお、詳細は協議のうえ決定する。

表3 スケジュール

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年		
								1月	2月	3月
契約	★									
設計書作成		←→								
現地調査		←→								
機器構築 (ルータ)				←→						
現地作業		←→								
完成図書作成										★

7. 移設元機器情報

- ・ 機器配置については、「別紙1 機器配置図」を参照のこと。
- ・ 接続構成については、「別紙2 接続構成図」を参照のこと。
- ・ ポート収容については、「別紙3 ポート収容図」を参照のこと。

8. 移設先機器情報

- ・ 機器配置については、別途県が指定する移設先の情報をもとに設計すること。
- ・ 接続構成については現行踏襲とする。
- ・ ポート収容については現行踏襲とする。
- ・ LANケーブルの配線は、県庁WANセンタースイッチから行うこと。なお、県庁3号館については設置場所まで配線済のため不要とする。
- ・ 三宮国際ビルおよび生田庁舎については、別途整備するフレッツVPNワイドをバックアップ回線として接続するため、別途ルーターを調達の上、県庁WANセンタースイッチから配線すること。
- ・ 県庁WANセンタースイッチおよびルーターのポートが不足する場合は、必要に応じて端末スイッチを設置すること。
- ・ 防災ルーターには、非常用電源の系統から電源供給されるよう設計すること。また、必要に応じてUPSを備えること。
- ・ UPSは、バックアップ時間約60分(ネットワーク機器合計35W)を満たすこと。

9. 作業概要

作業は以下の表を参考に詳細は県及び兵庫情報ハイウェイ運用業者並びに県庁 WAN 運用委託業者と十分に協議・確認してから進めること。

9.1 県庁 3 号館

表 4 県庁 3 号館の作業概要

作業内容
①. 県庁 WAN フロアスイッチ VLAN 追加調整
②. 事前現地調査
③. 防災端末一式の移設
④. 防災端末機器設置・機器接続
⑤. 防災端末・プリンタ IP アドレス設定変更
⑥. 動作確認試験
⑦. 完成図書作成

9.2 三宮国際ビル

表 5 三宮国際ビルの作業概要

作業内容
①. 県庁 WAN センタースイッチ VLAN 追加調整
②. 県庁 WAN アクセスポイントルータ IP 設定調整
③. 防災ルーター調達・設計・構築
④. 事前現地調査
⑤. LAN 配線 (防災端末等 2 式)
⑥. 防災ルーターの設置
⑦. 防災端末一式の移設
⑧. 防災端末機器設置・機器接続
⑨. 防災端末・プリンタ IP アドレス設定変更
⑩. 動作確認試験
⑪. 完成図書作成

9.3 生田庁舎

表 6 生田庁舎の作業概要

作業内容
①. 県庁 WAN センタースイッチ VLAN 追加調整
②. 県庁 WAN アクセスポイントルータ IP 設定調整
③. 防災ルーター調達・設計・構築
④. 事前現地調査
⑤. LAN 配線 (県庁 WAN センタースイッチと防災ルーター間)
⑥. LAN 配線 (防災端末等 14 式)
⑦. 防災ルーターおよび UPS の設置
⑧. 防災端末一式の移設
⑨. 防災端末機器設置・機器接続
⑩. 防災端末・プリンタ IP アドレス設定変更
⑪. 動作確認試験
⑫. 完成図書作成

9.4 設計・移設時の注意事項

- ・ 県庁 WAN 及び兵庫情報ハイウェイを管理する機器に対して、防災端末等機器一式がフェニックス防災システムを使用できるよう県及び兵庫情報ハイウェイ運用業者並びに県庁 WAN と調整を行うこと。
- ・ フェニックス防災システムが利用できるようフェニックス防災システム運用業者と調整を行うこと。
- ・ 必要に応じ県の指示のもと、各部局担当者に連絡し、現場調査を行うこと。また事前に移設元の寸法及び移設先の設置スペースの確認を行うこと。
- ・ 移設後に防災端末等保守業者が保守出来るよう引継ぎ資料を作成すること。

9.5 役割分担

表 7 役割分担

項目	内容	役割				
		A	B	C	D	E
調整	現地調査	□	●	◇	◇	
	関係者設定変更依頼	◇	●	◇	◇	
施工	移設設計	■	●			
	ルーター設計		●	□		
搬入・設置	機器搬入・設置	◇	●			
	機器設定		●			
	動作試験	□	●	△		△
図書・引継	ドキュメント作成	■	●			
保守	保守の実施		◆	●		

A…県

B…受託者

C…防災端末等機器一式保守業者

D…兵庫県情報ハイウェイおよび県庁 WAN 運用保守業者

E…フェニックス防災システム運用保守業者

●：主担当 △：補助 ■：承認 □：確認 ◇：調整 ◆：引継ぎ

10. 移設対象機器

防災端末 1 台あたりの移設対象機器は以下のとおり。

表 8 移設対象機器一覧 ※

機器名	製品名	数量
ノート PC (防災端末) 本体	VAIO Pro BM	1
小型インクジェットカラープリンタ	EP-315	1
端末スイッチ	Giga 対応 スイッチング Hub 8 ポート	1
USB ハブ	U2H-SN4NBK	1
マウス	M-K5URBK/RS	1
キーボード	BSKB100BKZ	1

※部局によっては構成が異なる。

11. バックアップ回線用ルーター (防災ルーター)

三宮国際ビルおよび生田庁舎については別途整備するフレッツ VPN 回線をバックアップとするため、県庁 WAN センタースイッチと防災端末等機器一式の間にルーターを設置することで県庁 WAN 回線が途絶した場合にも自動的にバックアップ回線に迂回するよう整備すること。ルーターの仕様は以下表のとおり。

表9 ルーター仕様表

項目	必須要件
用途	・バックアップ回線接続用ルーター
設置場所	・三宮国際ビルおよび生田庁舎の合計2台以上
設置方法	・現地調査のうえ、県と協議すること
規格	・ルーターとする ・小型筐体、メタル筐体
VLAN 機能	・タグ VLAN (IEEE802.1Q)、ポートベース VLAN
ルーティングプロトコル	・OSPF、スタティック ・スタティックの優先度を OSPF より低く設定できること
WAN 側ポート	・Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T (RJ45) ×1 ポート以上 ・オートネゴシエーション、10M/100M Full/Half 固定設定、1000M Full 固定設定、MDI/MDI-X 自動認識、MDI/MDI-X 固定設定
LAN 側ポート	・Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (RJ45) ×4 ポート以上 ・オートネゴシエーション、10M / 100M Full / Half 固定設定、1000M Full 固定設定、MDI / MDI-X 自動認識、MDI / MDI-X 固定設定
電源	・AC100V 電源、電源ケーブル添付
冗長機能	・WAN 回線 1 本かつ本装置 2 台の機器冗長構成において、WAN 回線接続された装置の故障時であっても、もう一方の WAN 回線接続されていない装置で WAN 通信が対応可能であること
運用・管理機能	・特定のイベントが発生したときに、任意のスクリプトを自動実行するトリガー機能を有すること ・リモート管理・保守が可能であること
ネットワーク管理・保守効率化	・メンバーノードの機器交換時に、バックアップデータからファームウェア、コンフィグ、スクリプトなどを自動復元する機能を有すること。なお、交換用の機器は購入時の状態でよく、事前設定の必要がないものとする
設定要件	・ネットワーク設定を行うこと ・県庁 WAN 回線遮断の場合、フレッツ VPN ワイド回線に迂回通信するように設定すること

項目	必須要件
保守要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年以上のメーカー保証を有すること ・ 予備機を用意しオンサイトによる交換とすること

12. 試験

機器単体での試験、拠点内での通信試験、センター拠点との疎通確認試験・確認作業を行う。不整合時には、即時での切り分けと対処を実施する。

試験手順は関係者調整のうえ作成すること。

13. 提出書類

以下の提出書類について電子媒体を2部提出すること。

表10 納品物一覧

提出書類
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計書 ・ 接続構成図 ・ ポート収容図 ・ 作業写真（施工前・施工後） ・ 機器配置図 ・ 試験成績書

14. 作業上の配慮

- (1) 作業現場の環境に適した装備・器具を用い適正に作業すること。
- (2) 作業中はフェニックス防災システムを一時停止する必要があるため、停止時間が最低限に短縮できるよう移設先の搬入ルートを確認すること。また手順書等を事前確認し防災端末及びプリンタの IP アドレス設定変更を速やかに実施すること。
- (3) 作業にあたっては、建物、器物その他の構造物に損傷を与えないこと。また、人的被害を及ぼさないように細心の注意を払うこと。
- (4) 作業場所での作業完了後、必ず後始末を確実にを行い苦情及び事故防止に努めること。

15. 特記事項

- (1) 訪問時には事前に連絡を行なうこと。作業開始時には担当者に作業開始する旨を伝え、終了時にも作業終了の旨を伝えること。
- (2) 作業中、各物品に異常を発見した場合、速やかに担当者に報告を行い、指示に従うこと。

以上